



北鎌倉台峯トラスト 北鎌倉の景観を後世に伝える基金

会報

北鎌倉だより

2004年2月 No10



第5回トラストの集い 2003.11.24 北鎌倉円覚寺 白雲庵

目次

- 第5回トラストの集い
- 会計報告
- 活動報告
- 会員からのお便り
- 北鎌倉文学散歩 八雲神社とマンション
- 談話室 “北鎌倉の景観” は緑と古刹と人家のにしき織りゾーン
- 北鎌倉 (山ノ内) マンション建築について
- 伝言板

北鎌倉の景観を後世に伝える基金

第5回「トラストの集い」 2003.11.24

2003年11月24日(祝)円覚寺白雲庵において会員50名の皆様にお越しいただき「第5回トラストの集い」を実施しました。



第1部では当基金理事長なだ いなだの挨拶に続き、担当理事より、活動内容および会計状況について報告いたしました。



【なだ いなだ理事長】



【土屋課長(右)松永課長補佐(中央)】

第2部では鎌倉市より広町台峯緑地担当土屋課長、総務部財政課松永課長補佐にお越しいただき、鎌倉の緑保全の歴史と広町緑地保全及び「鎌倉みどり債」発行に至るまでの経緯(土屋課長)と当基金が「市民参加型ミニ公募債」として提案し、広町緑地買取のために2003年12月に募集されることとなった「鎌倉みどり債」について具体的な説明(松永課長補佐)を行っていただきました。

「鎌倉みどり債」募集即日完売 (Web版北鎌倉だより2003.12号外より)

当基金が、台峯買取のために鎌倉市に提案した「市民参加型ミニ公募債」は、台峯に先行して広町緑地買取のために「鎌倉みどり債」として実現され2003年12月4日午前9時より募集が開始されましたが、新聞各紙の報道によると、発行額20億円は募集開始約5時間半で完売となりました。当基金も台峯のみならず広く市内の緑地保全に協力する目的から今回の募集に応募・購入しましたが、市民の皆様方の緑地保全への関心の高さを改めて認識すると共に、これに続く、台峯緑地保全の際にも皆様のご協力をお願い申し上げる次第です。

会計報告

15年4月1日から10月31日迄

特定非営利活動法人
北鎌倉の景観を後世に伝える基金

科目	14年度予算	前期より繰越	5/4より15/10月	予算残高	摘要	
収入	入会金	10,000			4月より正会員入会無し	
	個人会費	780,000		535,500	本人445名 家族164名 合計609名	
	団体会費	21,000		9,000	12,000	今年度入金 3件
	セミナー収入	600,000		685,500	-85,500	朗読&チャリティートークの切符販売
	民間助成金	150,000		16,780	133,220	店舗募金箱
	寄付金	1,000,000		489,161	510,839	今年度入金 34件
	街頭募金	80,000		34,823	45,177	北鎌倉駅前にて 3回分
	機関誌収入	250,000		126,640	123,360	機関誌「北鎌倉の風」2号、3号、4号
	受取利息	7,000		2,875	4,125	定期預金利息
	雑収入			24,986	-24,986	絵葉書、本売上収益
合計	2,898,000		1,925,265	972,735		
支出	(緑地の保全・管理事業)				0	
	整備作業費	35,000		7,960	27,040	山の手入れ、刈り鉄砥ぎ代
	諸謝金	20,000			20,000	
	小計	55,000		7,960	47,040	
	(普及・研修・事業費)					
	通信費	150,000		117,620	32,380	会員宛会報その他送付
	旅費交通費	160,000		193,000	-33,000	チャリティ出演者交通費
	会議費			64,647	-64,647	チャリティ食事代
	印刷製本費	20,000		22,343	-2,343	会報1回及び山歩きピラ7回その他
	諸謝金	60,000		113,650	-53,650	チャリティ関係者謝礼
	事務消耗品費	20,000		78,538	-58,538	チャリティ、山歩きピラ用紙、インク代
	委託費	150,000		105,000	45,000	チャリティ企画費
	賃借料	36,000		22,000	14,000	山ノ内公会堂10月迄使用料
	損害保険料	8,800		4,800	4,000	会場保険料
	雑費	14,000		31,785	-17,785	著作物使用料
	小計	618,800		753,383	-134,583	
	(広報・出版事業費)					
	通信費	70,000		29,187	40,813	ホームページ回線使用料7ヶ月分
	印刷製本費	500,000			500,000	機関誌5号16年3月までに発行予定
	事務消耗品費			7,129	-7,129	NPOフェスティバルのパネル代
諸謝金	35,000		20,000		ホームページ作成謝礼	
小計	605,000		56,316	533,684		
(交流・協力事業費)						
負担金	50,000		50,000	0	日本トラスト協会	
研修費	50,000		2,000	48,000	日本トラスト協会	
民間助成金	10,000		3,000		NPO賛助会費	
雑費、その他	15,000		420	14,580	振込み料	
小計	125,000		55,420	62,580		
(管理費)						
旅費交通費	15,000			15,000	振込料、会費納入依頼、会員証送付	
通信費	75,000		44,690	30,310	コピー代、用紙代	
事務消耗品費	36,000		82,272	-46,272	山ノ内公会堂10月迄	
賃借料	36,000		21,000	15,000	お見舞い	
交際費			5,000		参考資料	
調査研修費			1,000	-1,000	登記料他	
雑費	38,000		20,125	17,875		
小計	200,000		174,087	30,913		
合計	1,603,800		1,047,166	556,634		
科目	14年度予算	前期より繰越	4/4より14/10月	予算残高	摘要	
保有資産	現金		0	76,320		
	当座預金		498,849	1,174,939	郵貯	
	普通預金		655,231	249,048	東三B¥9,130、郵貯¥239,918	
	定期預金		11,308,187	11,840,059	東三B¥2,227,177、郵貯¥9,612,882	
	合計		12,462,267	13,340,366		

注記：繰積立金
正味財産

¥11,840,059
¥12,462,267

活動報告 (2003年10月～2004年2月)

- 1) **なだいなだと北鎌倉周辺をあるく。** (毎月、第3日曜日)
2003年10/19 11/16 12/21
2004年 1/18 2/15 *毎回40名程度参加
- 2) **台峯緑地内の赤道手入れ** (指導 久保廣晃氏)
参加者：毎回10名前後 (上記 なだいなだと北鎌倉周辺をあるく 前日)
作業内容 : 1. 赤道の路肩の補強、整備。
2. むかっている道に笹を刈って敷く。
3. 路肩の草刈、カナムグラ刈り。
4. 崩れかけている 階段などの整備。
- 3) **街頭募金 (円覚寺前)**
春、秋 各3ヶ月 第3日曜日に行う。10/19、11/16、
- 4) **会報「北鎌倉だより」9号発行。** 10月。
- 5) **他トラスト団体との交流。**
A. 舞岡公園 (横浜市戸塚区) を見学。(11/12)
B. 日本ナショナルトラスト協会主催の全国大会に参加。(11/24)
- 6) **「第5回北鎌倉・台峯トラストの集い」を開催。** (11/24)
円覚寺白雲庵にて。 参加者 約50名。
- 7) **マンション建設問題。**
2003年12月24日
マンション建設問題で、山田建設の近隣住民対象の第2回説明会に参加。(基金としては初参加)
建設場所 山ノ内宮下小路571番地 (北鎌倉駅より少し大船より) 高さ5階建て (63戸) マンション建設計画
2004年2月7日
山田建設第3回目の説明会に参加。基金としては 北鎌倉の景観を破壊するとの見方からマンション建設に反対の意を表明。説明会には今後も継続の予定。
- 8) **”物置小屋”設置。**
赤道手入れの為の作業道具を保管したく”小さな物置小屋”を 設置することを 地主さんに諒承していただく。場所は 山ノ内配水池より入り ”歩く” コース沿い。

会員からのお便り

会員の皆様から当基金に様々なかたちで当基金に寄せられたお便りを掲載いたします。

寺分 片瀬仁美さん

この地に住んで30年。以来、山崎の谷戸が好きで、年に数回歩いていきます。野村不動産の開発が今にも始まろうとする時は、心が痛みました。台峯を守る運動も分裂したりで、その盛衰にはらはらしました。

市主催の「緑の学校」2期生(昭和 57 年度)として、植物の面から、この野山を見てきましたが、今回にはじめて参加して、動植物と地形とのいろいろなかかわり合いを総合的に考えるようになりました。

昔と世の中の事情がかわって来て、今、都心回帰指向になってきているのに、新しく、この山と谷をつぶすことは、時代の流れに逆行しています。人口も減ってきています。ここ寺分地区も老人集落になり、空家、売家もあります。

緑の鎌倉を求めて、都会から人が来るのです。これ以上、緑をけずることには、絶対反対です。

きょうは、いろいろお世話さまでした。ありがとうございます。

横須賀市 小林桂子さん

北鎌倉に降りたつと、どこか気持ちがゆったりします。この気持ちこそが住んでいる人々と訪れるとマッチする様でこそ、本来の景観と云えるものではないでしょうか。誇りに思える地であります様に。

津西 岩瀬豊治さん

「みどり債」は少しですが協力してゆきます。いざという場合にどれだけ買取資金が市民から集まるのかということも緑の保全に対する市民の関心度、注目度のめやすとなると思っております。その結果をこれからの保全運動にも参考にしてゆけると思います。

山ノ内 大川邦之さん

権兵衛踏切際、5階建集合住宅のプランが掲示されました。ともかく、あの緑の大クスノ木の保守を求めたいと思います。鎌倉の左右の緑のゲートが失われます。会として提言等ご検討下さい。

台 片平勇さん

前略、私は入会以来台峯広町の保全に協力してきましたが、平成13年3月、軽い脳梗塞に罹り4月快癒。平成7年末の高血圧と心と腎障害を治すべく、東京

お茶の水クリニックにかかり食事改善で相当回復しましたが、平成14年6月1日自宅門前で転倒、門前の土留めの玉石に当たり左ひじ骨折、湘南鎌倉でX線で本年7月回復し、ワイヤは外さず、夜間外出禁止、作業禁止です。今年の3月喜寿となり疲れ易く無理はききません。ここ当分休会したいと思っていました。

しかし、重要な会合ならそういつてもおれません。参加したいと思います。前回参加しながら体調悪くアンケートは出せませんでした。その前アンケートを提出しております。覚えておりますが、地権者のため、住宅に売めることは原則認めず、相続税のためやむを得ない御遺族に限り認め、残りも換金性の高いもの(例庭木)等とし住宅と離れているため果樹等盗難の恐れのあるものは避け、さらに監視小屋を数件作る等してはどうかと思います。

山のしぼり水は土のために必要ですから全面的に保全すべきです。庭木等の先進地の専門家を招き、住民に受講させるのはどうかと思います。山の再植林も必要です。

保土ヶ谷 岡本正彦さん

19日の募金活動の反省会で、いくつか意見が出ました。これに関連して、観光客に訴えかける30秒~1分程度のキャッチフレーズ、いわば「基金」としての簡単なCMを一、二定めてはどうかと思います。簡単で分りやすく短時間で耳に残るもの。できれば英文も。先日は「NO GREEN NO LIFE」というだけでぼきんして呉れた外国人がいました。

広報部あたりでご検討下されれば幸甚です。

東京 木下靖枝さん

地元で運動の柱となっている なた いなた先生はじめ、皆様のご健康を心より祈念します。東京にも問題山積、それぞれの場で環境をよくするため力を尽くしましょう。

横浜戸塚 鈴木規尹さん

行政担当の出席が緑地保全への前進となることを期待します。

過日、広町緑地へ二度行きましたが、台峯が同じように保全されることを願っています。

山ノ内 山端通和さん

北鎌倉のあちらこちらでミニ開発が進んでいます。毎年花を楽しませてくれた山桜が切り倒されるのを心を痛めてながめました。人の価値観は様々なのはわかりますが・・・、なんとかならないものでしょうか。

小袋谷 桑原啓善さん

基金の充実は緊要大切なことと考えます。但し、更にもっと大切な事は鎌倉市から地球の緑を守ろうとする意識や運動の発信。

土浦市 越智昌利さん

集いに参加させていただきます。

土浦近辺にも「尖塚の里山」があり、こちらにも参加しております。出来る限り昔の故郷の「北鎌倉の里山」に参加したいと思えます。

山ノ内 村山百合さん

台峯の隣のやぐらのある森も開発の気配がします。何とか阻止したいと思うのですが、どうしたらいいのか？有効な方法はあるのか？

材木座 津久井憲司さん

- ① 鎌倉市民へのアピールまだ足りない
- ② みどり財団+風致保存会との連携、いずれも会員

梶原 金子満さん

台峯・私有地につき立入禁止の立札がでましたネ。何かと逼迫していることと推察しております。更なる知恵と運動を結集してご努力されんことを期待しております。

西御門 森田陽子さん

税制を変えないと緑は守れないのでしょうか。相続税の問題を抜きにしては考えられないとの感を強く持っております。

浄明寺 田澤千恵子さん

毎月の山歩き楽しみにしています。

受身な参加で申し訳ないと書こうとして(言い訳はみぐるしいとも感じる)もう一歩ふみ出そうと思います。……どう一歩か？

扇ヶ谷 キャスリン・ライリーさん

I SUPPORT YOU.

山ノ内 中川梢さん

北鎌倉の里山が残ります様に！

北鎌倉文学散歩

八雲神社とマンション

理事 和泉 あき

いきなり私事から始めるのは恐縮ですが、私は子どもの時から髪の毛が細くて薄かったようです。まだ小学校に入るか入らないかのころ、お風呂からあがりますと、口の悪い叔父が「夜店のステッキ一本並び」といつてからかうのです。よく分からないのですが、濡れたお河童の前髪が四、五本ずつ固まっておでこに垂れている様子が、パッと並べられて隙間から店の裏まで見通せてしまう露店を連想させたのでしょうか。

北鎌倉駅にほど近い権兵衛踏切際の思いもかけない小泉マンションの建設計画が発表され、その後恩着せがましく線路側の樟木や銀杏は残すと言われたとき、突然、何十年ぶりかで「夜店のステッキ一本並び」を思い出したのです。数本の樹木が伐採を免れたとしても、その間から無粋な高層建築の壁が見えるというのでは、北鎌倉周辺の景観に影響がないとは思えません。そればかりか根の近くを掘り返されて、樹々が今までのような勢いを保ち続けてくれるかどうか、素人の私でさえ不安になります。

踏み切りを越えて下り線ホームに沿った細い道から山の方へ入り、百段ほどの石段を登ると八雲神社の境内に出ます。山ノ内地区の鎮守様です。ささやかな社殿ですが、「吾妻鏡」にも記載のある古い由緒をもった神社だそうです。岡田寿彦氏の「8P ハッピーきたかま⑤」「北鎌倉の清明石と関東陰陽師」の記述をお借りすると、元仁元年(一二二四)。鎌倉で病疫が流行し、四境で疫病退散の鬼気祭りが行われました。山ノ内は北境にあたります。その後、祭場跡に八坂の神霊を勧請して村内の安全を祈願したのが始まりだそうです。鎌倉にもいくつか八坂神社・八雲神社がありますが、両方とも祭神はスサノオノミコト、この八雲神社には国常立命、大己貴命、少彦名命を刻んだ大きな石碑もあって、国つ神を祀ったものであることを示しています。

ところで、この時鬼気祭りを執行したのは陰陽権助国道といい、安倍清明八代の孫だそうです。三代將軍実朝のころから、とくにその暗殺後、摂関家や天皇家から將軍が迎えられるようになると、鎌倉でも陰陽師の活動が本格化し、やがて京都に対して関東陰陽師とよばれるようになったということです。鎌倉で活躍した陰陽師たちは、その開祖ともいべき清明を祀ったのでしょう。

八雲神社の境内には清瀧不動尊と刻んだ石碑や多分もう少し新しい庚申塔などもあって丹念に見ていくとおもしろいのですが、安倍清明の石碑もあります。前は駅近くの十王堂橋際にあったのですが、道路拡張に伴いここに移されたということです。鎌倉に陰陽道が盛んになったのは、ただ政治の中心が移ったり、京風文化が迎えられたというだけだったとは思われません。この地にも畏怖される怨霊は多かったのです。八雲神社の山の上からうらめしげに眼下のマンションを見下ろすなどということにはなっほしくないと思うのですが……。

【談話室】

“北鎌倉の景観”は緑と古刹と人家のにしき織りゾーン

理事 楢原一郎

「広報かまくら」16年2月15日号の「まちのスケッチ欄」で、腰越の西山久美さんが、かまくらの景観について見事な感想を述べておられる。「・・・坂ノ下から稲村ガ崎に差しかかると、運転する私の中は富士山でいっぱいになる。鎌倉で富士山がこれほど大きく見える場所を私は知らない。さらに七里が浜、腰越と海沿いの道を、左に富士を望みながら走るときの気分は最高。どんなにつらいときも幸せな気分になり、思わず「ありがとう」と感謝の言葉を発してしまう。・・・(中略)“鎌倉”を布に例えたらどんな色だろう。悠久のときが彩りよく織り込まれた布地を、私たちの代で哀(かな)しみの色調にはならない。(後略)」

“北鎌倉の景観”とはと、深く考えざるを得ない状況が起こっている。大船駅方面から諸所で工事されているマンション建設が北鎌倉にも押し寄せ、駅近く(山之内宮下小路571番地)に、5階建63戸のマンションができるという。円覚寺山門に連なる樹林の斜面と向き合う台峯のなだらかな丘陵をタテにブチ切るように五階建ての四角いコンクリ屋根がそそり立つかと思うと、これはよくないと思わざるを得ない。

鎌倉の玄関口“北鎌倉”とは、鎌倉の七つの切通しの外ながら、横須賀線、県道沿いの谷合いは「北鎌倉ベルト地帯」ともいわれる景観上ユニークな、緑濃い古刹と丘陵のつながる一帯である。1246年北条時頼の招聘で鎌倉に来た中国禅僧蘭溪道隆が南宋の山地寺院のあり方を移すべく建長寺を建立、元との戦いの彼我の戦没者をとむらう北条時宗の造営の円覚寺、時宗の室が早世した夫の墓所円覚寺を望む丘に建立した東慶寺など、当然ながら鎮魂の気配が樹々をわたる風の音にもこもる古刹のつらなりがある。その間の北鎌倉の斜面一帯は、クルマの出し入れも困難な小径のつながりで通じていて、樹林と人家の織りなすたたずまいは、つづら織りのようなひっそりとした古びが息づいている。“街道”といたい線路沿いの県道は、今もなお、門前町のおもかげを僅かに残し、観光客相手のほかに陶器、和紙、竹かご細工など、アートの匠の小店が散見されるが、特筆したいのは北鎌倉駅である。駅舎の風情も素朴で、なつかしい平屋建て。円覚寺側への駅員の踏み切り誘導が今どき珍しく親切でなつかしい。この駅の雰囲気には残業帰りの勤め人の険しく疲れた表情も和らぐところがある。地元の八雲神社の祭礼の宵など、笛、太鼓の音にまじって子どもたちの歓声もきこえる。他人様の土地の使い方に口出しはしたくないが、住んでいる人のこのような息づかいと町並みに、四角いコンクリの4階、5階建てが立ならぶ無機質な風景は受け入れがたい。

北鎌倉・山ノ内 マンション建築問題に対する声明

北鎌倉・山ノ内に計画されているマンション建築問題について、「北鎌倉の景観を後世に伝える基金」は、建築業者による説明会に2度にわたり参加しました。急遽、2004年2月7日に実施された説明会は、基本的な手順を踏まえ、十分な説明を行い合意を求めることよりも、むしろ早期着工を図ろうとする業者側の姿勢が強く感じられる内容でした。



【写真 北鎌倉・山ノ内集合住宅建築計画地周辺(2003年春撮影)】

当基金は、台峯の自然環境と共に、六国見山の緑と、北鎌倉の町並みが織り成す景観の破壊に繋がるこのマンション建築問題に対し、鎌倉市長、市民・会員、建築業者に向けて、2004年2月10日、次の声明を出しました。次に市長宛声明を掲載します。

鎌倉市長
石渡徳一殿

特定非営利活動法人 (NPO)
北鎌倉の景観を後世に伝える基金
代表 ないなだ

昨年末、広町緑地の取得の財源として発行した「みどり債」(住民参加型ミニ公募債)は予想以上の売れ行きで、即日完売とのこと、住民の「緑地保全への熱意」の表れと、喜んでおります。

さて、私達は過去5年にわたり、ここ北鎌倉の地において、台峯の緑地保全運動に携わってまいりました。鎌倉全体の景観にも、強い関心を抱いております。

この度、北鎌倉駅より、わずか大船寄りの場所(山ノ内宮下小路571番地)に高さ5階建て(住宅戸数63戸)のマンション建設計画(キャッスル北鎌倉、建築主、山田建設)があることを知り、愕然といたしました。

早速、建築主に対し、計画の内容を説明するよう要請し、近隣住民の方々および地域の団体の方々と、計画の概要につき説明を受けました。

もしこのまま建設が実現しますと、古都鎌倉の玄関口、北鎌倉の景観は一変することになります。地域住民のみならず、世界各地から訪れる人々に、落胆、失望を与えかねない、と恐れるものであります。

さらに、聞くところでは、現在、北鎌倉駅周辺だけでも複数のマンション建設が計画中とのこと。5階、6階のマンションが、現在でも失われがちな、北鎌倉の歴史的財産ともいふべき山々の緑と町並の調和からなる景観を、回復不可能なところまで、破壊する事態が差し迫っているのを感じます。

こうした事態を放置することは、おりしも、生誕100年を迎え全世界でその作品が今尚、感動を与え続けている小津安二郎の映画の舞台ともなり、小津ファンにとって聖地ともいふべき、この情緒豊かな北鎌倉が、無機質なマンション群に、取って代わられることを座視するにも等しいことです。

そのような事態を避けねば、ここに住む住民の見識さえ疑われかねません。

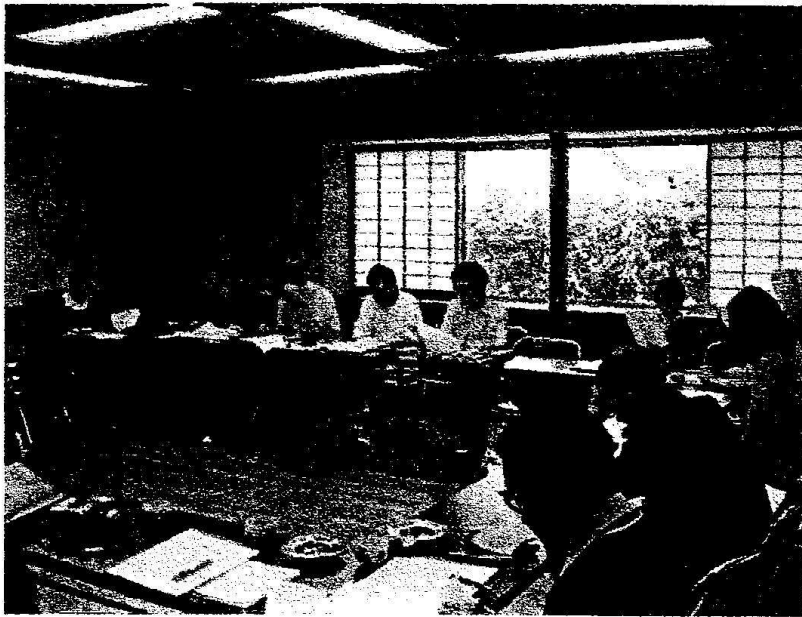
私達は緑に囲まれた北鎌倉の貴重な景観を後世に伝える観点から、マンション建設計画に反対することを表明いたします。

おりしも、国土交通省も「景観」は国民共通の財産と位置づけ、「景観形成促進法(仮称)」を通常国会に提出し、04年中の施行をめざしています。

駆け込み建設で、法律の通ったときには、法の存在意義が失われているようなこととなつては、行政の見識が疑われます。ぜひ、国民共有の財産を守るべく、行政の業者に対する強い働き掛けを望む次第です。

私達としても、地域住民の方々、および地域の関連する団体の方々と、連携し、北鎌倉の貴重な景観を破壊から守るべく、活動して行く所存です。

2003年2月10日



■ 北鎌倉・台峯トラスト 理事会メンバー 2004年2月現在

理事長 nada いなだ

副理事長 石黒 ひで

理事 新槇 幸子 和泉 あき 榎本 晶夫 小田原 茂夫

小林 京子 齋藤 博子 楢原 一郎 野口 稔

望月 晶夫 望月 眞樹 森泉 定男

監事 林 雄一郎 吉野 功

正会員 石原 瑞穂 市川 節子 岩瀬 豊治 上田 雄一郎

塩原 順子 中村 光夫 平尾 光司 渡辺 利勝

(50音順)

伝言板

□ 機関誌『北鎌倉の風』のご案内□

第4号 特集「命育む台峯にあそび、まなぶ」

【主な内容】

- ・北鎌倉の緑を次世代に 東慶寺 閑栖 井上 禅定
 - ・台峯四季巡り ナチュラリスト 久保 廣晃
 - ・当たり前のことが、なぜかいとおしい ナチュラリスト 久保 廣晃
 - ・「台峯(だいまね)子ども風土記」 正会員(編集) 榎本 晶夫
 - ・故郷(ふるさと)の山懐かしく 北鎌倉女子学園 宮澤 文恵
 - ・谷戸は総合的な学びの場 山崎の谷戸を愛する会代表 相川 明子
 - ・台峯を“学びのテーマパーク”に！ 正会員 中村 光夫
 - ・願わくは総合学習の副教材に(編集後記)広報担当理事 野口 稔
- バックナンバー(2号・3号)もぜひご覧ください。各500円でお付けしています

■『北鎌倉の風』第5号 2004年3月発行予定■

【定例行事】「なだ いなだと北鎌倉周辺をあるく」

毎月、第3日曜日午前9時に北鎌倉・東慶寺手前の山ノ内公会堂に集合、簡単なコースの説明の後、主に台峯から鎌倉中央公園まで、鎌倉自主探鳥会メンバーの案内で歩いています(解散は正午頃、雨の日はフリートーク)。

□ 新規会員募集中！ □ 一般年会費 2000円

詳細は事務局までお問い合わせください。

発行日 2004年2月20日

発行者 NPO法人 北鎌倉の景観を後世に伝える基金

事務局 〒247-0062 鎌倉市山ノ内1045 TEL/FAX 0467-22-7993

ホームページ URL <http://www.kitakamakura-trust.org/>